

編集後記

中川西 剛（東北工業大学）

本専門部会の活動も3年目を迎えた。参加校も8校に増え、「第1章 専門部会参加校の実践について」で紹介されているように、様々な実践が各校独自のアイデアや工夫のもとに行われていることに、校長先生方はじめ担当されている先生方の熱意や努力に対して改めて敬意を表したい。各校の取組が、更に学校全体の力になることを期待している。

また、11月11日（金）には「アクティブ・ラーニングとICT」を研究テーマとした研究協議会が仙台城南高等学校を会場として開催された。午前の研究授業では多賀城高校の東館拓也先生が生物基礎の授業を、また宮城教育大学教職員大学院1年生（仙台市立七郷中学校教諭）の草野有希先生が体育（ダンス）の授業を、会場校である仙台城南高校の生徒達に授業を行ってくださった。このようなことは今回が初めての試みであったが、生徒達が先生方の巧みな授業に次第に引き付けられている様子が伺え、各校の実践を実際に参観者に観て頂く上で極めて良かったと、次年度以降の計画に活かしたいと考えている。午後には昨年度に引き続き宮城教育大学教職大学院生の企画による「ICT教育フォーラム」が開催された。積極的にアクティブ・ラーニングにタブレット端末を利活用している仙台第三高等学校の滝井隆太先生、及び、東北学院中学校・高等学校の名越幸生先生の実践報告があり、タブレット端末を有効に使いこなす先生方の力量の凄さに感銘した。更には、東北学院大学の稲垣忠先生から「『深い学び』へ導く学習活動デザインとICTの役割」と題した御講演を頂いた。新学習指導要領の改訂に伴い、今後のICT教育に求められる役割や質的向上の重要性について多くの示唆を頂いた。

いよいよ、高等学校に於いては新学習指導要領が平成34年から年次進行で実施される予定である（先行実施は平成31年度から）。「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が改定の方向性であり、特に「どのように学ぶか」に関しては、主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善が求められている。本専門部会がこれまで取り組んできた方向性と全く重なるものであり、目標が更に明確になったものと捉えている。我々の実践がこれらにどれだけ迫れるかが大きな課題であるが、それでも「生徒の変容」を楽しみにしながら、多くの皆様の御理解や御支援を頂きながら、みやぎで学ぶ子どもたちの為に一步一步着実に活動を進めて行きたい。

ここに平成28年度の活動記録として報告書にまとめた。御高覧いただき、今後の本専門部会の研究活動に更なる御助言・御指導いただければ幸甚である。

平成28年3月

みやぎの ICT 教育研究専門部会

平成 28 年度 研究報告書

発行日：平成 29 年 6 月 9 日

編集・発行：みやぎの ICT 教育研究専門部会

編集代表：田幡憲一 中川西剛 佐々木啓充 千葉俊哉

みやぎの ICT 教育研究専門部会事務局

〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町 5-1

学校法人東北工業大学 仙台城南高等学校

TEL 022-305-2111

FAX 022-305-2114